

市立札幌病院ステージアッププランの進捗状況

具体的な取組策 取組項目・内容	目標値等 【実施予定時期】	現在までの取組結果(24年4月～26年3月) ※下線は25年度の取組	今後の取組、課題等
(1) 質の高い医療の提供			
ア 地域医療機関等との機能分化・連携推進 (7) 各診療科の医療情報誌を作成し、当院の診療機能をPRするとともに、連携医療機関への訪問活動を強化し、信頼関係を深める。また、かかりつけ医を持つための相談体制を強化し、紹介率及び逆紹介率の向上を図る。	各診療科の医療情報誌の作成【24年度】	○24年6月に「市立札幌病院診療科案内」を新規作成し、連携医療機関等850機関に配布。その他、かかりつけ医相談窓口 ^{に専従看護師1名配置、開放病床の設置(5床)、患者搬送用車両の新規導入等を実施。} ○25年8月地域医療支援病院に承認される。 ○25年10月に内容やレイアウトを改善した第2号「市立札幌病院診療のご案内」を ^{発刊し、新たに医療・看護系大学にも配布。} ○連携医療機関への訪問活動を強化(24年度:41件、 <u>25年度52件</u>)。 ○紹介率 24年度:55.1%、 <u>25年度:54.9%</u> (23年度:44.4%) ○逆紹介率 24年度:63.7%、 <u>25年度:65.1%</u> (23年度:46.6%) ○「地域医療支援病院入院診療加算」 <u>25年度:約73百万円</u>	○地域医療支援病院の承認要件の引上げ(紹介率50%、逆紹介率70%)に対応するため紹介率・逆紹介率の向上を図る。 ○診療科案内の増刷、効果的な訪問医療機関の選択。
(イ) 在宅支援や転院調整が必要な患者さんについて、関係職種から構成されるチームが入院後7日以内に退院支援計画の作成に着手する。	入院後7日以内の退院支援計画の作成着手【24年度】	○24年度より、退院支援計画書、退院調整に係るフローチャートを作成し、運用を開始。 ○「退院調整加算」24年度:981千円(716件)、 <u>25年度:954千円(701件)</u>	○退院調整加算未算定件数減少のための対策。
イ 精神科医療の充実 (7) 精神科救急・合併症医療の提供	精神科救急・合併症医療の提供【24年度】	○新規患者入院割合55.5%(施設基準40%以上)、在宅移行割合67%(同40%以上)、時間外受診患者数272件(同200件以上)、医療保護入院等入院割合77.8%(同6割以上)、応急入院等受入件数33件(同30件以上)。「精神科救急・合併症入院料」算定の基準を満たしたため、25年3月に届出。 ○25年4月から算定開始。 ○「精神科救急・合併症入院料」 <u>25年度:約223百万円</u>	○措置入院等の圏域内受入率を基準以上に保っていく。
ウ 周産期医療体制の充実 (7) マザーリング病床の設置	マザーリング病床の設置【25年度】	○24年度に設置場所の検討、改修に係る設計を実施。 ○9階西病棟のNICUに隣接した居室を改修し、25年9月から供用開始(利用実績1件)。	○臨床心理士を採用し、より専門的な相談対応ができるよう体制強化を図る。
エ 外来化学療法室の拡充 (7) 外来化学療法室の増床	8床増床し、15床とする【24年度】	○24年11月3階に8床とミキシングルーム設置(計15床)。 ○「外来化学療法加算」24年度:約13百万円(2,317件)、 <u>25年度:約18百万円(3,463件)</u>	○利用件数の増加を図る。

具体的な取組策 取組項目・内容	目標値等 【実施予定時期】	現在までの取組結果(24年4月～26年3月) ※下線は25年度の取組	今後の取組、課題等
オ 専門性の高いチーム医療の推進 (7) 栄養サポートチームの対象病棟を4病棟から6病棟まで段階的に拡大し、栄養療法の推進を図る。	栄養サポートチームの対象病棟拡大【24年度、26年度】	○24年8月対象病棟を拡大（7階東病棟形成外科、計5病棟）。 ○介入件数 24年度：387件、 <u>25年度：402件</u> ○「栄養サポートチーム加算」24年度：720千円、 <u>25年度：786千円</u>	○カンファレンス日程、体制等について調整のうえ1病棟（4階東病棟循環器内科）拡大。
(4) がん患者さんに対して、治療の早期の段階からの緩和ケア受診を促し、罹患・治療に伴う全人的苦痛の緩和を図る。	がん患者さんに対する早期の緩和ケア介入【24年度】	○24年度からがん治療科に対し外来化学療法中の患者の早期段階での緩和ケア内科外来への紹介を依頼。 ○緩和ケアに関する講演会（24年11月、 <u>25年11月</u> ）、報告会（25年3月、 <u>26年3月</u> ）を開催。 ○「外来緩和ケア管理料」24年度：510千円（170件）、 <u>25年度：669千円（223件）</u>	○介入件数の増加を図る。
(7) 入院時の持参薬の確認や患者さんに対するハイリスク薬等を投与する前の詳細な説明など、病棟における薬剤師の業務範囲を拡大する。	病棟における薬剤師業務の拡大【25年度】	○24年度は3病棟6診療科、 <u>25年度は5病棟5診療科に薬剤管理指導業務を拡大。</u> ○ <u>26年1月から「病棟薬剤業務実施加算」の算定を開始。</u> ○「病棟薬剤業務実施加算」 <u>25年度：約8百万円</u>	○病棟での業務体制を維持していく。
(エ) 周術期の患者さんや、放射線治療、化学療法を実施する患者さんに対して、歯科医師による包括的な口腔機能の管理を行う。	周術期等における包括的な口腔機能の管理【24年度】	○「周術期口腔機能計画策定料」24年度：約1百万円（418件）、 <u>25年度：約2百万円（605件）</u> ○「周術期口腔機能管理料」24年度：約4百万円（1,192件）、 <u>25年度：約5百万円（1,811件）</u>	○介入する診療科の拡大（7科→8科）。
(オ) 通院中の糖尿病の半数に上ると予想される腎症2期以上の患者さんに対して、糖尿病療養指導士を中心としたチームによる療養指導により、末期腎不全への進行の阻止を図る。	チームによる糖尿病透析予防指導の実施【24年度】	○24年7月から指導を開始。 ○指導件数 24年度：99件 <u>25年度：56件</u> ○「糖尿病透析予防指導管理料」24年度：273千円、 <u>25年度：165千円</u>	○病診連携の中で、要件に合致するような患者さんを積極的に受け入れる。
カ 医師、看護師の勤務環境改善 (7) 医療秘書及び看護補助員の増員	【24～26年度随時】	○医療秘書を増員し25年4月から「40対1医師事務作業補助体制加算」（3月まで50対1）〔26年度当初34名〕。 ○「医師事務作業補助体制加算」 <u>25年度：約48百万円</u> ○看護補助員の増員を進め24年6月から「75対1急性期看護補助体制加算」、25年6月から「50対1加算」を取得〔26年度当初82名〕。 ○「急性期看護補助体制加算」 <u>25年度：約125百万円</u> ○ <u>看護事務補助員を26年1月に3名採用。</u>	○医療秘書、看護事務補助員の増員。

具体的な取組策 取組項目・内容	目標値等 【実施予定時期】	現在までの取組結果(24年4月～26年3月) ※下線は25年度の取組	今後の取組、課題等
(2) 経営基盤の強化			
ア ジェネリック医薬品への移行 (7) 個々の薬品の信頼性等を十分に検証の上、50品目をジェネリック医薬品へ移行	ジェネリック医薬品への移行【毎年度実施】	○調剤薬（内服・外用）を中心に、24年度は21品目、 <u>25年度は32品目の切替え</u> を達成（25年度末で252品目）。 ○23年度に切り替えた18品目の24年度効果額約14百万円。 ○24年度に切り替えた21品目を加えた計39品目の <u>25年度効果額約26百万円</u> （2年度間の累計効果額40百万円）。 （効果額は薬価ベース）	○引き続き先発品と後発品の適応、安定供給等について検討し、切替えを行っていく。
イ 医療情報部門の強化 (7) 医療情報部門の設置	医療情報部門の設置【24年度】	○24年に医療情報管理担当課を設置。 ○ <u>疾病ごとの収入、在院日数、医療資源の投入状況を分析し、各診療科に改善点の説明を実施。</u>	○各部門への情報提供や、経営支援・提案の役割の強化していく。
ウ 専門性の高い病院事務職員の確保・育成 (7) 職員の病院独自採用等	職員の病院独自採用【24年度2名、26年度2名】	○診療情報管理士の資格を有し、かつ3年以上の病院事務経験を有する者を25年1月に2名、 <u>26年4月に2名採用。</u>	○今後も採用を継続。様々な事務を経験させ、人材育成を行っていく。
エ 地域医療機関等との機能分化・連携推進【再掲】 (7) 「地域医療支援病院入院診療加算」を算定する。	「地域医療支援病院入院診療加算」の算定【25年度】	(1)ア 地域医療機関等との機能分化・連携推進 参照	-
オ 精神科医療の充実【再掲】 (7) 「精神科・救急合併症入院料」を算定する。	「精神科・救急合併症入院料」の算定【25年度】	(1)イ 精神科医療の充実 参照	-
カ 専門性の高いチーム医療の推進【再掲】 (7) 「栄養サポートチーム加算」の増収を図る。	「栄養サポートチーム加算」の増収⇒【24年度、26年度】	(1)オ 専門性の高いチーム医療の推進(7) 参照	-
(イ) 24年度の診療報酬改定で新設された「外来緩和ケア管理料」を算定する。	「外来緩和ケア管理料」の算定【24年度】	(1)オ 専門性の高いチーム医療の推進(イ) 参照	-

具体的な取組策 取組項目・内容	目標値等 【実施予定時期】	現在までの取組結果(24年4月～26年3月) ※下線は25年度の取組	今後の取組、課題等
(ウ) 24年度の診療報酬改定で新設された「病棟薬剤業務実加算」を算定する。	「病棟薬剤業務実加算」の算定【25年度】	(1) オ 専門性の高いチーム医療の推進(ウ) 参照	-
(エ) 24年度の診療報酬改定で新設された「周術期口腔機能管理料」を算定する。	「周術期口腔機能管理料」の算定【24年度】	(1) オ 専門性の高いチーム医療の推進(エ) 参照	-
(オ) 24年度の診療報酬改定で新設された「糖尿病透析予防指導管理料」を算定する。	「糖尿病透析予防指導管理料」の算定【24年度】	(1) オ 専門性の高いチーム医療の推進(オ) 参照	-
キ 医師、看護師の勤務環境改善【再掲】 (7) 「40対1医師事務作業補助体制加算」を算定する。	「40対1医師事務作業補助体制加算」の算定【25年度】	(1) カ 医師、看護師の勤務環境改善 参照	-
(4) 「急性期看護補助体制加算」を算定する。	「75対1急性期看護補助体制加算」の算定【24年度】 「50対1急性期看護補助体制加算」の算定【26年度】	(1) カ 医師、看護師の勤務環境改善 参照	-

具体的な取組策 取組項目・内容	目標値等 【実施予定時期】	現在までの取組結果(24年4月～26年3月) ※下線は25年度取組	今後の取組、課題等
(3) 計画的な施設、設備、高度医療機器の整備			
ア 病院施設、設備の改修・更新 (ア) 総合的、中・長期的視点から施設管理を行いながら、耐用年数を経過した設備の更新など、建物全般の修繕を計画的に進める。	建物全般の修繕【毎年度実施】	○実施した更新工事 24年度：外来棟屋上の冷却塔機器、中央監視装置(サーバー)機器、電話交換設備、外来呼出装置等、25年度： <u>ヒートポンプユニット、送風機設備、駐車場設備、屋上防水改修</u> ○更新工事の実設計 25年度：照明システム	○更新工事を実施するもの ヒートポンプユニット設備、送風機設備、屋上防水改修、外壁補修、照明システム等
(イ) 近い将来には、病棟や厨房などの大規模改修工事が必要であることから、当院の診療業務への影響を最小限にする改修手法を検討する。また、医療制度改革等を踏まえた当院の方向性を見定めて、新たな病院機能の充実や病床再編などについて併せて調査、検討する。	大規模改修手法の検討【26年度まで】 新たな病院機能の充実や病床再編などの調査・検討【26年度まで】	○24年度から施設大規模修繕の部内検討会議を実施。 ○25年度に保全改修可能性調査、配管劣化度調査を実施。	○調査結果を踏まえ、改修の基本構想を策定。
イ 災害に強い電気設備等の設置 (ア) 受変電設備や非常用発電設備の整備を行う。	受変電設備等の設置【26年度】	○受変電設備増設工事等に着手(受変電設備は特別高圧66,000V化、非常用発電設備は平常時の電力を全館全設備に約72時間供給可能)。	○27年3月竣工予定。
(イ) 非常用井戸を増設する。	非常用井戸の増設【26年度】	-	○26年5月頃設計、10月頃工事、27年2月頃竣工予定。
ウ 総合医療情報システムの更新 (ア) 既存システムの運用状況を評価し、その結果を反映させながら、電子カルテシステムを中心とした総合医療情報システムを更新する。	総合医療情報システムの更新【26年度】	○24年度に34の作業部会にてシステム更新の仕様書を作成。 ○25年度に業務フローの確認と利用環境に適した病院内のセキュリティポリシーの検討を実施。	○27年1月更新予定。
エ 高度医療機器の更新・整備 (ア) 耐用年数や医療技術水準の動向を踏まえて、計画的に高度医療機器を更新する。	高度医療機器の更新・整備【毎年度実施】	○24年度は放射線治療システム、NICUモニタリングシステム、手術台等計119件の更新・整備を実施。 ○25年度は手術顕微鏡、血管造影X線診断装置、一般X線撮影装置等137件の更新・整備を実施。この他、手術支援ロボット(ダヴィンチ)を導入。	○26年度に超電導磁気共鳴診断装置等を更新予定。

具体的な取組策 取組項目・内容	目標値等 【実施予定時期】	現在までの取組結果(24年4月～26年3月) ※下線は25年度の取組	今後の取組、課題等
(4)患者サービスの向上			
ア 患者さんの意見・要望を踏まえたサービスの向上 (ア) 患者満足度調査や待ち時間調査の実施、ご意見箱などにより、患者さんの意見・要望を把握・分析し、改善に努める。	患者満足度調査【毎年度実施】	○患者満足度調査を24年9月、25年9月に実施。総合評価は、外来で24年度：84.5%、25年度：87.1%、入院で24年度：90%、 <u>25年度：92.3%の方が満足と回答。</u> ○外来待ち時間調査を24年5月、25年6月に実施。25年は診療科別診察待ち時間、初診・再診別の診察待ち時間、曜日別診察待ち時間、検査待ち時間、会計待ち時間を調査。 ○「ご意見箱」の投書をもとに、予約相談コーナーの時間外音声案内の開始、外来男子用トイレにファイル置き場の設置（いずれも24年9月）、院内全面禁煙への取り組みに係る院内・院外放送の開始（25年11月）等を行った。	○引き続き調査を実施。 ○「ご意見箱」に寄せられた意見については、随時検討していく。
イ 患者アメニティの向上 (イ) 喫茶コーナーの設置	喫茶コーナーの設置【24年度】	○24年5月タリーズコーヒー開店。 ○25年4月ファミリーマート開店。	○院内食堂の営業再開を目指して運営手法や参入条件について検討。
ウ 院内情報の提供 (ウ) 院内にディスプレイを設置し、映像を通して施設案内や交通アクセス、院内の催しなど、医療や当院に関する情報を効果的に提供する。	ディスプレイの設置【25年度】	○26年3月1階ロビーにディスプレイを設置し、施設案内や交通アクセス、院内の催しなど、医療や当院に関する情報を提供。	○コンテンツ内容の充実。
エ わかりやすい案内表示・掲示 (エ) 案内表示（サイン）や掲示物について、設置場所や説明内容などを改善する。	わかりやすい案内表示・掲示【24～26年度随時】	○救命救急センター待合スペースの公衆電話に対する表示を、中央エレベーターホールに2か所貼付。 <u>1階来院者トイレ</u> 、1～3階の外来ゾーンの表示を更新。	○随時改善を図る。

経営指標に係る数値目標に対する実績(見込)について

目標を達成しているもの：○、概ね目標を達成しているもの（目標値の概ね9割程度達成）：△、左記以外：×

(1) 財務内容の改善に係る数値目標

項目		23年度	24年度	25年度	備考
経営効率化					
新入院患者数	1) 目標	-	14,500人	14,600人	平均在院日数の短縮のため
	実績	14,491人	14,256人	14,634人	
	達成状況	-	△	○	
病床利用率	1) 目標	-	81.3%	81.9%	
	実績	81.1%	76.0%	72.3%	
	達成状況	-	△	△	
経常収支の黒字維持					
経常収支比率	目標	-	100.8%	100.5%	職員数及び退職者数が当初見込みを上回り、人件費が増加したため
	実績(見込)	a) 101.4%	100.8%	100.0%	
	達成状況	-	○	△	
職員給与費対医業収益比率	目標	-	49.9%	49.8%	
	実績(見込)	a) 48.6%	52.9%	53.5%	
	達成状況	-	△	△	
材料費対医業収益比率	目標	-	29.9%	29.7%	
	実績(見込)	a) 30.1%	29.5%	28.8%	
	達成状況	-	○	○	
単年度資金収支の黒字確保					
単年度資金収支	目標	-	▲225百万円	139百万円	医業収益が予算額を下回ったため（資本的収支は概ね予算どおり）
	実績(見込)	945百万円	▲192百万円	▲51百万円	
	達成状況	-	○	×	
一般会計繰入金の縮減					
繰入金対経常収益比率	目標	-	8.8%	7.9%	経常収益が予算額を下回ったため（一般会計繰入金は前年度より減少）
	実績(見込)	13.4%	9.7%	9.0%	
	達成状況	-	△	△	

注：1) 救命救急センター及び精神医療センターを除く。 a) 静療院を除く。

(2) 医療機能の確保に係る数値目標

項目		23年度	24年度	25年度	備考	
地域医療機関との機能分化・連携推進						
紹介率	目標	-	50%	55%	紹介患者は約400人増えたが、これを含む初診患者が約1,000人増えたため	
	実績	44.4%	55.1%	54.9%		
	達成状況	-	○	△		
逆紹介率	目標	-	60%	62.5%		
	実績	46.6%	63.7%	65.1%		
	達成状況	-	○	○		
政策医療の提供						
救急患者受入数(3次)	目標	-	1,150件	1,200件	医療圏の3次救急件数の減少等のため	
	実績	1,052件	1,161件	945件		
	達成状況	-	○	×		
措置入院、緊急入院及び応急入院の受入数	目標	-	30件	30件	(医療圏が分割されたため受入数は減少しているが、道央ブロック45件中12件を受け入れており、精神科救急・合併症入院料の施設基準(圏域内の4分の1以上)を満たす。)	
	実績	-	33件	12件		
	達成状況	-	○	○		
がん治療の質の確保・向上						
外来化学療法件数	目標	-	2,200件	3,200件		
	実績	2,162件	2,317件	3,463件		
	達成状況	-	○	○		
高度で専門的な医療の提供						
栄養サポートチームの介入件数	目標	-	407件	421件	栄養サポートチームの介入対象となる患者さんが少なかったため	
	実績	387件	387件	402件		
	達成状況	-	△	△		
緩和ケア内科外来新規患者数	目標	-	25人	30人		
	実績	17人	27人	45人		
	達成状況	-	○	○		
周術期口腔機能管理計画策定件数	目標	-	170件	200件		
	実績	-	418件	605件		
	達成状況	-	○	○		
医療従事者の育成						
臨床研修医受入数(後期研修医を含む)	目標	-	50人	50人	(本人都合によるもの(2名))	
	実績	44人	49人	48人		
	達成状況	-	○	○		
看護補助員数(委託を含み、常勤換算)	目標	-	54人	62人		
	実績	41.25人	60.5人	67人		
	達成状況	-	○	○		
患者サービスの向上						
入院患者満足度	1)	目標	-	89.0%	89.5%	
	実績	88.5%	90.0%	92.3%		
	達成状況	-	○	○		
外来患者満足度	1)	目標	-	83.6%	84.5%	
	実績	83.6%	84.5%	87.1%		
	達成状況	-	○	○		

注:1) 患者満足度調査の総合評価における「満足」、「ほぼ満足」の割合